

# 平成16年度決算 一般会計 討論



早期対策が望まれる駅西広場

# 補正 予算 第2号・第3号

**反対**  
清水正之

**賛成**  
藤野幹男

**反対**  
渋谷登美子

課の連携強化が必要

平成十六年度嵐山町歳入・歳出決算について反対します。リストラ、就職難、所得控除の廃止、またサラリーマン増税や消費税の二ヶタ化などの増税をはじめ、医療改悪をはじめとする社会保障の切り捨てなど、住民生活はますます大変になってきます。十六年度決算においても住民一人当たりの年間所得は八万七千円の減少になっており、今こそ自治体の役割が大切になっていきます。反対の理由の最初は、課の連携の強化です。西森土木の土地買収に関する土地保有税の未納分は、課の連携をしっかりと取れば納付可能でした。徴税確保は町の大きな課題だと考えます。二つ目は未執行予算についてです。インター関連、博物館等は町の努力で執行できるものであるし、しなければならぬものであります。三つ目は少子化対策についてです。ひとり親家庭の学童保育利用者の補助は、一人千五百円ではあまりにも低い。補助金の引き上げを検討し、多くの家庭で利用できる制度にすべきです。最後に同和事業はすでに終結しています。町予算の現状を見るならば同和予算を廃止して、一般事業に切り換えるべきです。以上の点から決算について反対します。

財政運営の効率化  
健全化に努力された

平成十六年度嵐山町一般会計、歳入、歳出決算認定について、賛成の立場で討論を行います。

我が国経済も、回復のきざしが見えてきたとは言え地方自治体においては交付税が大幅に削減され、厳しい財政環境にまかれています。

平成十六年度一般会計は歳入総額六三億五七七五万四〇六円、歳出総額六一億二二九万七〇一九円、前年度対比、歳入一億五八四万八千円の増、歳出一億五五〇二万七千円の増、交付税大幅減の中、概ね目的に沿って予算執行された努力を評価します。

歳入におきまして町民税法分人の増額があつたにせよ、徴収アップへの努力、管理経費の節減に努力されたあとが随所に見られ、財政運営の効率化、健全化に細心の注意をはらったのがうかがえます。事業として、一・二号線の完成、志賀小耐震工事、菅谷小、中学校へ門扉設置、次世代育成支援への取組み、住宅リフォーム追加支援、防犯への取組み等、財政状況が厳しい中努力されました。

今後も厳しい財政状況が続くと思われるが、費用対効果を更に出すような事業展開と、適切な予算執行をお願いし、私の賛成討論といたします。

福祉縮小を招いた  
決算に反対

私は、平成十六年度決算認定に反対します。

平成十六年度は、前町長の二十年の町政の最終年に予算策定され、その後、岩沢町政に、受け継がれ執行されました。本決算の課題の第一は、合併協議会の問題です。滑川町の問題、役場庁舎の移転の問題、山間部と都市要素の強い地域の生活文化の違いを無視し、駆け込み合併を行うための合併協議会設置でした。住民意思を確認しない合併協議は、滑川町の住民投票で解散しました。嵐山町の財政悪化を合併で解決しようとした結果、現在の極端な福祉縮小に陥りました。住民参加手続きが欠落した合併協議の公共福祉への影響を指摘します。

第二は、役場庁舎への道路一・二号線建設は、利便性はあるにしても町財政の負担は大きく、福祉縮小を余儀なくさせられています。

第三は、町長就任後の行財政改革を公務員の福祉厚生に関わる優遇策についての認識なく着手している点です。職員給与等は町民の税のなかからの支出である認識が薄く、町民に何が必要か、何を改革していくべきなのか、精査されていません。以上、現在の嵐山町の福祉縮小を招いた平成十六年度決算認定はできません。

## 主な内容

9月補正予算の状況 (単位: 万円)			
会計名	補正額	補正後	
一般会計	1億2744	51億7249	
国民健康保険特別会計	162	15億4754	
老人保険特別会計	1075	11億6255	
介護保険特別会計	1981	7億8197	
下水道事業特別会計	1334	5億1743	
水道事業 会計	収益的収入	△1414	5億7984
	収益的支出	△67	4億8820
	資本的収入	90	2090
	資本的支出	90	3億1256

**庁舎管理事業**  
庁舎と健康増進センターとの通路の雨漏り修理代補正額・五〇万円増額。

**道路修繕事業**  
大雨のとき河川排水が道路側溝を逆流するため、排水用のポンプ設置(志賀二区、太郎丸)補正額・七十七万円増額。

**武蔵嵐山駅西口、駅前広場整備事業**  
武蔵嵐山駅西口の利用者等の利便性向上を図るため必要な整備を行う測量・設計の経費(新規事業)補正額・三〇〇万円増額。

**Q&A**  
Q 雑入の増えた理由は  
A 町の農産物加工施設の敷地の借上げ料を味菜工房より負担してもらえらることとなったためです。

**Q** 杉山城跡を玉ノ岡中学校の学習林として整備、活用する新規事業は今後も続けていけるのか  
**A** 今後続けていけるかわからないが、杉山城の保全には努めていきます。

一般会計補正予算の内容 (単位: 万円)	
歳入の内訳	補正額
地方特例交付金	387
地方交付税	△746
国庫支出金	△1299
県支出金	2564
繰入金	1610
繰越金	9878
諸収入	410
町債	△60
歳入合計	1億2744

(単位: 万円)

歳出の内訳		補正額
総務費	9668	
民生費	839	
農林水産業費	0	
土木費	677	
消防費	90	
教育費	65	
予備費	1405	
歳出合計	1億2744	

※一般会計補正予算については第2号、第3号合わせたものです。

